

事務事業名	緑の募金還元事業				会計	一般会計			
H27担当課等名	林務課		H27係等名	里山保全係		事業種別	経常	開始	終了
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
	施策	51	緑の保全と創出						
目的	対象(誰・何を)	市内各地区公共施設				対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	緑化木の配布による緑豊かな環境づくりの推進					配布先公共施設数(個所)		75
	向上させたい上位施策の成果指標	身近な自然は守られていると感じる市民の割合 %							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	苗木本数(本)			1800	1297	1300	1300	
	定性目標								
事業概要	緑の募金還元金を利用して市内の公共施設の環境緑化推進する <参考>細々目名:森林環境保全推進事業費								
26年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	市内の公共施設に苗木の配布 ミツバツツジ他				苗木の本数		1,297本		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		809	1,000	432	1,000	(そ)市町村緑化事業交付金			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		769	1,000	432	1,000				
一般財源		40							
人件費計(千円)②		501		501					
正規職員所要時間		140		140					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		1,310	1,000	933	1,000				
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成28年度に長野県で開催される全国植樹祭への取り組みの経費として、緑の募金額から負担することになり、募金からの還付金の市町村緑化事業交付金等が減額となったことから、配布本数が減となった。各地区からの要望本数の査定を行い、要望本数に達しない箇所はあるものの、全箇所への配布を行い公共施設等の緑化推進を図った。								
改革改善の考え方	①問題点	緑の募金の還元事業による公共施設等への緑化事業であり、募金額により変動する。							
	②改革提案	配布本数は募金額により決まってくるが、植栽した苗木の枯損率を減らすことが重要であるので、地域による手入れ等をお願いする。							